

定量イムノクロマト マイコトキシンキット



TotalTox コーム
ADFZ マルチトキシン
コーン試料の一斉抽出
同時試験が可能

高精度

マトリックスごとの標準検量線をロット毎に提供
HPLC や LC-MS/MS と高い相関一致を示します

簡単

上清液とバッファーを混合してストリップを挿入
反応後は専用リーダーで自動解析&データ化

迅速

反応時間は DON = 最短 2 分、アフラトキシン最短 4 分
リーダーの解析から PDF データ生成まで数秒

低コスト

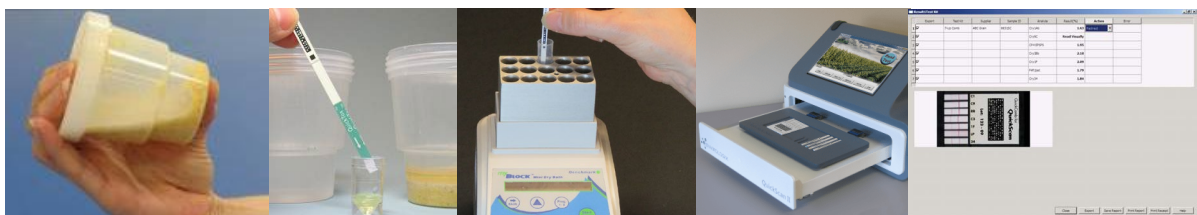
参照標準不要ですべてのストリップを利用可
簡単手技で人的費用も大幅に削減

信頼

AOAC および USDA/GIPSA 性能認証 多数
認証標準試料でロットごとにキャリブレーション

柔軟

コーンや小麦だけでなく、米、落花生やグルテンフィードなど
飼料副原料など多彩なマトリックスを正確に測定します



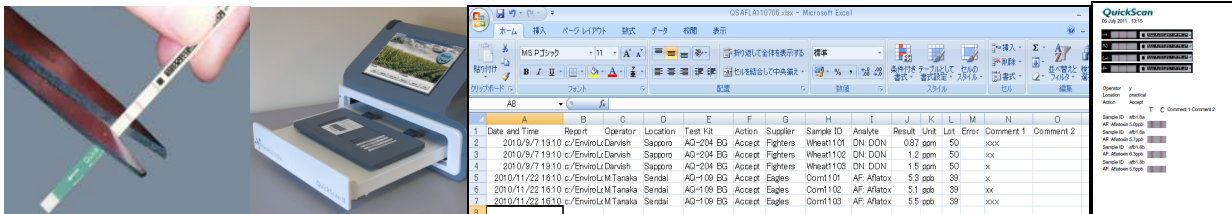
QuickScan II リーダーシステムが別途必要です

マイコトキシニウムノクロマト定量キット

簡単・手軽な操作とデータ化



破碎/均質化 振とう/抽出/精製 バッファー希釈 クロマト展開*



2~5分で終了 専用システムにより数秒で解析、自動的に写真付き PDF レポート & データ化

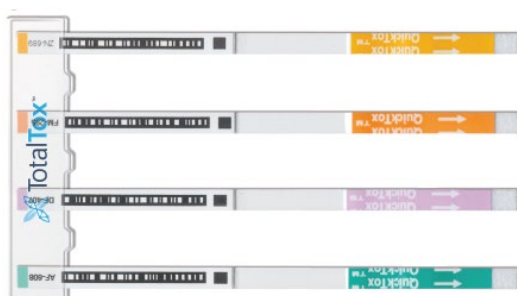
※: TotalTox シリーズはミニチューブ仕様。20-24℃以外ではチューブインキュベータ必須

穀類から飼料副原料まで様々な試料に高感度対応。性能認証も

キット名 および 性能認証*	適用試料	測定範囲
TotalTox アフラトキシン AOAC PTM, USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、小麦、大麦、ライ麦、オーツ麦、玄米、ソルガム、マサ粉、綿実、落花生 DDGS、コーングルテンミール、コーンジャーム、大豆ミール等	2.7~300ppb コーン 1.5ppb~
TotalTox DON AOAC PTM, USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、コーングルテンミール、コーングルテンフィード、DDGS、小麦、ふすま、小麦粉、漂白粉、小麦グルテン、大麦、大麦麦芽、オーツ麦、ライ麦、ソルガム、大豆ミール、米粉 等	0.1~30ppm
TotalTox フモニシン USDA/GIPSA	コーン、コーン粉、マサ粉、コーングルテンミール、DDGS、ソルガム	0.1~100ppm
TotalTox ゼアラレノン USDA/GIPSA	コーン、小麦、DDGS、コーングルテンミール	50~2000ppb
QuickScan T-2/HT-2 FLEX	コーン	25~2500ppb
QuickScan オクラトキシン A	コーン、小麦	1.5~30ppb

測定範囲および AOAC 及び USDA/GIPSA の性能認証は試料タイプにより異なります。
AOAC PTM(Performance Tested Method)の評価試験は Journal of AOAC に記載されています。

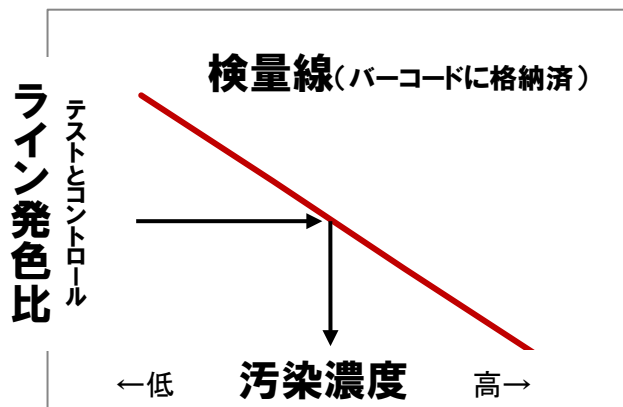
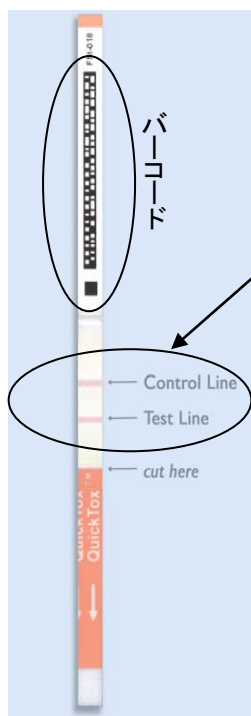
マルチトキシンを一斉抽出・同時検査をコームタイプで



TotalTox コーム ADFZ

コーン試料から専用バッファーと水で抽出
ストリップ展開 4分
アフラトキシン、DON、フモニシン、ゼアラレノン
同時検査します (コーングルテンミールも可)

TotalTox(QuickScan) システム定量の仕組みと正確さの理由



濃度計算のイメージ

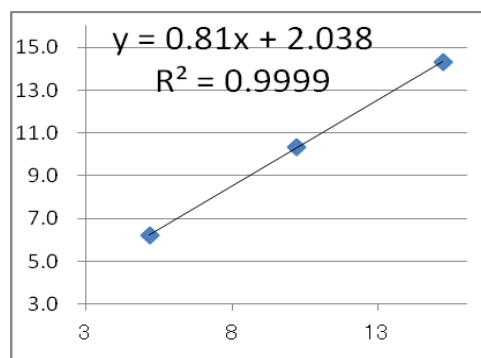
ストリップ上に(或いはカードで)バーコード(QRコード)が付与されています。バーコードには、既知の複数段階濃度の標準試料を測定して得られた反応データがマトリックス標準検量線として収められています。そして実際のストリップ試験の発色反応が、このデータとともにシステムで読込・解析されます。この検量線データは、**試料の種類タイプ毎**に用意されているので、マトリックスによって異なる反応阻害等の影響が勘案されます。また、**製造ロット毎**にも測定されており、試験結果のロット間差も極小化されることになります。

また、**独自に開発された画像解析アルゴリズム**は、クロマト用紙や試薬ラインの万一の不均質にも対処でき、厳しい品質管理や多種多様なテストノウハウとともに、精度向上に寄与しています。さらには、**抽出と試験などの操作をとても簡単に**したことで、室内さらには空間においても**試験精度**を明らかに、**飛躍的に向上**させることが出来ました。

添加回収試験による性能確認 (いずれも弊社調べ)

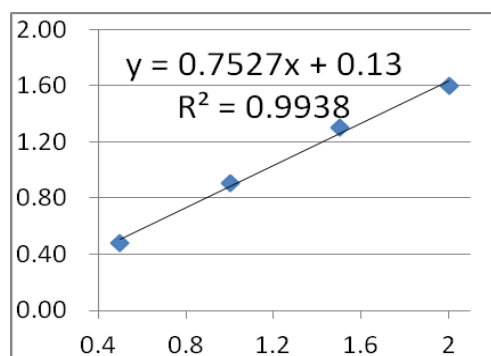
アフラトキシン(ppb):コーン

ID	添加	期待値	測定値	測定値	SD	CV%	真度
0-1	-	3.2	2.7	3.2	0.5	14.3%	100.0%
0-2			3.6				
0-3			3.3				
2-1	2	5.2	6.2	6.2	0.6	8.8%	119.2%
2-2			5.7				
2-3			6.8				
7-1	7	10.2	10	10.3	0.6	5.6%	101.0%
7-2			10				
7-3			11				
12-1	12	15.2	14	14.3	0.6	4.0%	94.1%
12-2			15				
12-3			14				



デオキシニバレノール(ppm):小麦

ID	添加	期待値	測定値	平均	SD	CV%	真度
0.0-1	-	0	< LOD				-
0.0-2			< LOD				
0.0-3			< LOD				
0.5-1	0.5	0.5	0.54	0.48	0.06	11.9%	96.0%
0.5-2			0.46				
0.5-3			0.43				
1.0-1	1	1	0.95	0.91	0.04	4.5%	91.0%
1.0-2			0.87				
1.0-3			0.9				
1.5-1	1.5	1.5	1.3	1.3	0.0	0.0%	86.7%
1.5-2			1.3				
1.5-3			1.3				
2.0-1	2	2	1.7	1.6	0.1	6.2%	80.0%
2.0-2			1.5				
2.0-3			1.6				

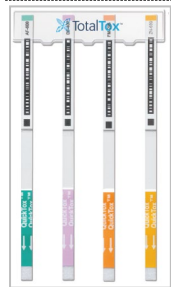


TotalTox / QuickScan マイコトキシム イムノクロマト 定量

特定のマイコトキシムをストリップ上の抗体で捕捉、2~5分後バンドの呈色によって判断するイムノクロマトキットで、別売の QuickScan II リーダーシステムを用いて、ELISA よりも迅速簡易でしかも正確に定量することができます。多くのキットが AOAC や USDA GIPSA などの性能認証を受けています。またコーン・小麦のほかコメ・落花生やグルテン、グルテンフィード、ミール、DDGS などの飼料副原料等、多様なマトリックスにも対応しています。

(製造 : EnviroLogix Inc.米国) rev.2024.01

*性能認証 A : AOAC PTM G : USDA/GIPSA



TotalTox コーム ADFZ マルチトキシム (アフラトキシム DON フモニシン ゼアラレノン)	3245EL2411	24 組	140,000 円	
	3245EL2410	48 組	275,000 円	

マルチテストコーム 24 / 48 組、反作用チューブ、ピペットチップ、アッセイバッファー、TotalTox 抽出バッファー

TotalTox アフラトキシム	3245EL2025	50 本	72,000 円	A・G
TotalTox DON(※2)	3245EL2046	"	"	A・G
TotalTox フモニシン(※1)(※3)	3245EL2065	"	"	G
TotalTox ゼアラレノン(※1)(※3)(※4)	3245EL2075	"	"	G

ストリップ 50 本、反作用ミニチューブ、ピペットチップ、アッセイバッファー等



チューブインキュベーター

- (※1)「TotalTox 抽出バッファー (50 包)」【3245EL8117】(15,000 円)
フモニシン・ゼアラレノンキットで抽出に必須 (DON は一斉抽出試験時) (アフラトキシムキット標準添付)
- (※2)「DB5 アッセイバッファー (7mL)」【3245ELDB5B】(3,000 円)
DON キットで一斉抽出試験時にのみ必須
- (※2)「DB6 アッセイバッファー (11mL)」【3245ELDB6B】(3,000 円)
DON キットでコーングルテンフィード試験時、追加で必須
- (※3)「EB18 バッファー濃縮液 (50 検体分)」【3245EL8270】(6,000 円)
フモニシン・ゼアラレノンキットで DDGS・グルテンミールの試料抽出にのみ必須
- (※4)「DB7 アッセイバッファー」【3245ELDB7B】(3,000 円)
ゼアラレノンキットで DDGS 試験時にのみ必須



QuickScan T-2/HT-2 FLEX	3245EL2053	50 本	72,000 円	
QuickScan オクラトキシム A	3245EL2031	"	"	

ストリップ 50 本、反作用ミニカップ、ピペットチップ、アッセイバッファー等

目的・用途 特定の穀類、種実、飼料副原料等中のマイコトキシムのスクリーニング・定量
原理 ラテラルフロー (イムノクロマト) 法

操作 (例) 穀類試料 (試料を破砕均質化し US20 メッシュ相当でふるい)
前処理 : 試料に抽出液を加え高速振とう後、静置/遠心/ろ過等で上清をとる
① バッファー液と抽出上清を反応容器にいれ混和
② ストリップ下端を浸し、所定時間 (2~5 分) インキュベーター (20-24℃)
③ 下端を切り離し QuickScan リーダーで測定 (詳細は別途お問合せください)

必要器材 QuickScan II リーダーシステム (5005ELA331) 680,000 円 (GMO 定量にも使用可)
チューブインキュベーター (5073ELBH30) 88,000 円 (試験室 20~24℃なら不要)
高速振とう器、マイクロピペット、遠心分離機

測定範囲 (例) キットにより 対応試料と感度 が異なります お問合せ下さい	アフラトキシム	1.5~300ppb	
	DON	0.1~30ppm	
	フモニシン	0.1~100ppm	
	ゼアラレノン	50~2000ppb	
	T-2/HT-2 トキシム	25~2500ppb	
	オクラトキシム A	1.5~30ppb	QuickScan II リーダー

QuickScan II



Windows11 PC一体型 3USBポート、有線LAN、wifi対応